事業所名：グループホーム　アップル鶴の里

作成日：　令和　4年　10月　4日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍における運営推進会議が書面での対応になっていることから、一方的になっている。やはり推進委員から意見を抽出することは必要。	運営推進員から意見を抽出する。	書面での議事録のなかにフィードバックを意識した文面を追加する。	1か月
2	6	身体拘束に関する同意書と経過観察の記録がリンクしていない。	身体拘束が必要な理由や拘束しなければならない時間(見守りできない時間帯等)適正化や根拠を入れ込む。	①再度本人が何に困っているのか家族、担当医、現場で話し合う。 ②業務展開の見直しをする。 ③身体拘束に関する同意書の見直しをする。	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。